



シルバーとなみ

ふれあい

第 22 号

平成21年4月10日発行

社団法人

発行 砺波市シルバー人材
センター

砺波市高道217の2

TEL 0763-33-4341

FAX 0763-33-5854

庄川支所

TEL 0763-82-5335

(題字) 柳原 和夫

講師の先生の熱心な指導に聞き入る受講生の皆さん(襖・障子張替講習会)



今年の冬は暖冬でありましたが、米国発の百年に一度と言われる経済不況が、日本企業を直撃し、雇用情勢は急激に悪化し、労働者の雇用打ち切りが進んでいます。

これを受け、当センターでも今年に入って契約の打ち切りが相次ぎ、約六十名の会員の方の仕事が無くなり、契約高(配分金)も三億円を下回る見込みとなっており、平成二十一年度は二億七千万円の予算計上をしています。シルバー人材センターにとっては、冬の時代を迎えております。

ところで、会員の登録数は六百八十六名(三月末現在)です。今までは新入会員説明会を開催しても参加されるのは六十五歳以上の方々でありましたが、今年になってからは参加者も多くなり、それも六十歳過ぎの方が見えています。

新年度からは、新しい会員就業基準に基づき、センターの理念である、自主・自立・共働・共助の精神に則り、適正就業に努めてまいります。

補助金削減に伴う収入減の確保、財政基盤の安定を図るため、新たに企画提案方式による新規事業への取組みや労働者派遣事業の推進、又、引続き財政中長期計画に基づき経費の削減に努力致します。

今年役員改選があり何人かの新しい理事も誕生されました。力を合わせ、心機一転皆さんに親しまれるセンターを目指し、共にがんばりましょう。

(雨池)

**地域社会に愛され親しまれ、
貢献できるセンターを目指して**

総会には五百五十七名（うち委任状二百八十五名）が出席。開会のあいさつで柳原和夫理事長は「世界的な経済不況の中、新年度においては、労働者派遣事業のさらなる推進を図ることはもとより、新規取り組みである企画提案方式による事業を実施するなど、これまで以上に積極的な事業拡大を図らなければならない。」と挨拶を行いました。

このあと上田砺波市長、林砺波市議会議長、才木富山県シルバー人材センター連合会長（代理事務局長宮田和郎氏）が祝辞を述べられました。

引き続き赤羽根 博愛さん（林地区）を議長に選任し議事に入り、平成二十一年度の事業計画案、収支予算案など四議案をいずれも原案通り承認しました。

事業計画

基本計画では特に、あらゆる機会を通じてシルバーの普及啓発に

平成20年度 **第2回通常総会** 互助会総会
(社) 砺波市シルバー人材センター



あいさつを述べる柳原会長

努めながら、就業の場を確保し、安全・適正就業委員会を新たに設置、適正かつ安全な就業の強化を推進していくことを説明しました。そのなかで、

- (1) 普及啓発事業の推進
 - (2) 就業機会の拡大
 - (3) 安全・適正就業の推進
 - (4) 企画提案方式による事業の推進
 - (5) 労働者派遣事業の推進
 - (6) 生活圏域就業促進支援員の設置
 - (7) 会員の加入促進及び就業相談会の開催
 - (8) 互助会への支援
 - (9) 講習・研修会の開催
- を基本計画に掲げています。

収支予算

二十一年度収支予算では、当期収入合計額三億六千四百九十九万円が昨年度よりもおよそ三千三百六十七万円の減少となることを見込んでいます。

三月末現在の会員数は六百八十六名（男三百八十八名、女二百九十八名）です。

新役員の皆さん

理事	花木 輝雄 (出町)	理事	堀池 清二 (庄下)	理事	横山 与吉 (中野)	理事	中村 博信 (五鹿屋)	理事	岡田 彰平 (東野尻)	理事	洪谷 智子 (鷹栖)	理事	柳原 和夫 (若林)	理事	島上 務 (林)	理事	加門 健一 (高波)	理事	浅谷 康夫 (油田)	理事	山田 薫 (南般若)	理事	江田 輝男 (柳瀬)	理事	安念 外信 (太田)	理事	北井 幸男 (般若)	理事	燕昇司 勇夫 (東般若)	理事	信田 馬子代 (梅檀野)	理事	谷井 忠義 (梅檀山)	理事	宅間 三郎 (東山見)	理事	倉田 信正 (青島)	理事	金剛 昭一 (雄神)	理事	中嶋 満里子 (種田)	理事	雨池 弘之 (事務局長)	監事	老松 邦雄	監事	金井 實
----	------------	----	------------	----	------------	----	-------------	----	-------------	----	------------	----	------------	----	----------	----	------------	----	------------	----	------------	----	------------	----	------------	----	------------	----	--------------	----	--------------	----	-------------	----	-------------	----	------------	----	------------	----	-------------	----	--------------	----	-------	----	------



総会後には竹部俊恵氏による記念講演も

砺波市シルバー人材センター互助会総会も同時開催されました。

今年度の主な事業としては

- ① 研修旅行の実施
 - ② 奉仕活動の実施
 - ③ 会員のつどいの実施
 - ④ 組織活動、研修会等の助成
 - ⑤ 同好会活動への助成
 - ⑥ シルバー事業への協力・支援
 - ⑦ 慶弔費の支給
- となっており、また本会の収入は①会費（一人年六百円）②センターからの助成金③各負担金④寄付金などとなっており、年間総予算額は六百六十七万九千円です。

全三十一地区
十九か所で開催



様々な意見が交換された

「懇談会」から「交流会」へと名称が変わり、会員互助会主催となつて二年目の今回は、新たな試みとして各地区への助成金が、年間の互助会主催の行事（会員交流会・清掃ボランティア・会員のつどい）への出席者の人数をもとに算出されることとなりました。

各行事へ関心を持ち、益々参加される事が望まれます。

交流会の開催期間中は天気にも恵まれる日が多く、例年より多くの会員が参加、皆さんからは、次々と活発な意見・提案が飛び出し、有意義なものとなりました。

事務局からは、事業実績・安全就業（シルバー保険）についての報告、今後力を入れて取り組んでいく適正就業・シルバー派遣事業についての説明がありました。

特に経済不況が反映して、民間事業所からの契約の打ち切りが相次ぎ就業の機会が少なくなる一方で、地域性でもある一人暮らしの高齢者宅への家事援助サービスの要望や、個人宅からの除草・樹木管理の依頼が増加傾向にある問題について事務局からは「臨時的かつ短期的な就業がシルバーの本来の形で、ローテーション就業をしながら仕事を分け合う。屋外作業を希望される方が知り合いにいたら会員一人ひとりが声を掛け勧誘していただき、多くの需要に応じていけるよう努力していただきました。」と答えました。

また、統合を機に補助金が削減されていることに対する、自主財源の確保への新たな取組みでもある「シルバー派遣事業」について、実績状況も含め、これまでの就業スタイルとの相違を説明しました。

会員が「望む」意見・要望

Q 砺波市SCの会員就業基準には一箇月の就業日数は概ね、十三日とし、一週間二十時間を超えないとあったが、派遣事業になつてもその基準なのか。

A 派遣事業では、四週間に十日程度以内、また一週間当たりの就業時間が二十時間を超えない「軽易な業務」と定められています。

Q 派遣事業では会員に支払われる配分金はどうなるのか。

A 今まで「請負」で仕事をされた場合は「配分金」という形で支払われていましたが、「派遣」となると「賃金」という形となります。いずれの場合も、発注者・雇用主から別途手数料（事務費）をいただいております。

Q 景気の低迷で、新規の発注はあるのか。

A 新規受注の開拓のため、県シ連から就業開拓創出員を配置し、砺波地区の民間事業所を訪問し、シルバー事業をPRしておりますがなかなか難しい状況にあります。しかし、一般家庭からの剪定や除草、一人暮らしの高齢者宅からの軽度生活支援サービスの依頼は年々増加しています。

Q 就業先で直接個人へ仕事を頼まれた場合どうすればいいのか。

A なるべくシルバー人材センターを通してご依頼いただけるようお願いしていただきたいです。

個人で仕事をされていて万が一、事故が発生してもシルバー保険では対応しかねます。また、個人で仕事をされてご請求される場合、お客様より、シ

ルバー人材センターから請求が来たと勘違いされ、苦情のお電話があることがあります。

Q 過去、砺波市SCで色々な講習会を開催していたが現在はどうか。

A 砺波市SCで独自に開催していた技能講習会は現在ありませんが、安全就業を目的とした刈払機・チェーンソー等の取扱、安全運転の講習会などは開催しております。

Q 毎月発行している「事務局だより」は、配分金がない時はもらえないのか。

A 現在は、配分金のない方には配布せず、事務所の窓口に配置しております。砺波市SCのホームページに掲載するようにしますので、閲覧できる方はぜひそちらからご覧下さい。

Q シルバー人材センターの会員登録について聞かれたらどのように答えればいいのか。

A 毎月、砺波市SCにて新入会員説明会を開催しております。その場で、シルバー人材センターの仕組み・理念、またどんな仕事があるかなどを説明しております。もし、興味のある方がお知り合いでいらつしやいましたら、「一度事務所へ行ってみられ」と声をかけてください。

Q 地区別会員交流会以外の場合で会員同士の交流の場を設けたり、就業場所ごとの打合せ会を開催するときはどうすればいいか。

A 事務所へ声をかけていただければ、シルバーワークプラザを提供いたしますし、互助会より予算の範囲内で補助を出します。

会員だより

ハウスクリーニング

講習会開催

去る二月十三日、ハウスクリーニング講習会が砺波市福祉センター「北部苑」で開催され、日頃から建物の清掃作業や家事援助サービスなどで活躍している会員三十名が参加しました。

講師には、砺波市内外のビルメンテナンスをしておられる株式会社新星の方をお迎えし、二時間に亘りしっかりと講習を受けました。講義では、普段何気なく使っている、「ぞうきん」「モップ」「掃除機」などの用具の正しい使い方をお教わりしました。



正しい使い方していますか？

実技では清掃の基本作業ということで、北部苑の施設を実際に使

ってカーペットとたたみの違い、洗面台・トイレの掃除の仕方を教わり、実際に作業をしながら講師の方に質問しました。受講した会員からは、

- 今まで自己流で掃除していたので大変参考になった。
- 道具・洗剤の正しい使い方を学べてよかった。
- 身近にある道具できれいに清掃できることがわかった。
- と感想が聞かれ大変有意義なものとなりました。

高齢者の事故防止について

一月二十三日、アクロス中央自動車学校（砺波市太田）で、「シルバー体験型安全教室」が開催されました。

午後二時から開講式が行われ、約一時間の講義を受けました。

近年、飲酒運転による事故の多発を受け、取締・罰則が強化されることや、後部シートベルト着用の義務化など法改正について学び、高齢者の事故防止、最近メディアなどでもよく取り上げられている「エコドライブ」について実例を挙げながらわかりやすく説明して



指導員と共にいざコースへ

いただきました。

休憩を挟んだ後に、実際にコースへ。助手席に指導員の方を乗せ、三人一組になり互いの運転を体験。何十年と運転している皆さんもこのときばかりは緊張しながらハンドルを握りました。

受講者の皆さんが一番多く指摘されていたのが「安全確認」。長年の運転でついしてしまった悪いクセをもう一度修正し、日頃の運転で気をつけて運転していただきたいと指導を受けました。

◎配分金支払い日案内◎

- 五月十五日 (金)
- 六月十五日 (月)
- 七月十五日 (水)
- 八月十四日 (金)
- 九月十五日 (火)
- 十月十五日 (木)

就業相談会開催のお知らせ

平成二十一年度より、会員を対象とした就業相談会を開催します。就業先での問題、就業日数の過不足、こんな仕事がしてみたいなどのご意見・ご要望がありましたらお聞かせ下さい。ご参加をお待ちしております。

◆開催予定日(変更の場合あり)

- ① 六月十一日
 - ② 十月一日
 - ③ 二月四日 (平成二十二年)
- ◆時間
午後二時～午後五時迄

編集後記

ふれあいの発刊される日、四月十日は、数字の「4」と漢数字「十」を合わせると「弁」に見えることから「弁当の日」だそうです。

昨年の漢字には「変」が選ばれ、日本人の食の安全に対する意識の変化も話題となりました。

私も昼は職場での「弁当」ですが、朝・夜はなるべく家族全員で食べることを意識しています。

景気の低迷で嫌な話題ばかりの世界ですが、せめて食事の時間ぐらいは家族で会話をし、楽しい時間を過ごしたいなと思います。

日に日に暖かくなってきました。仕事がお休みの日などは「お弁当」をもって、家族でお出かけなんてどうですか。(S記)